

様式P

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
射水市	射水市	平成29年度～令和3年度	平成29年度～令和3年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績B /目標A
排 出 量	事業系 総排出量	15,492 t	13,952 t (-10 %)	13,845 t (-11 %)	99%
	1 事業所当たりの排出量	2.35 t	2.10 t (-11 %)	2.74 t (17 %)	130%
	生活系 総排出量	19,879 t	17,904 t (-10 %)	19,129 t (-4 %)	107%
	1 人当たりの排出量	196.51 kg/人	178.67 kg/人 (-9 %)	198.05 kg/人 (0.8%)	111%
合 計	事業系生活系総排出量合計	35,371t	31,856 t (-10 %)	32,974 t (-7 %)	104%
再生利用量	直接資源化量	650 t (2%)	780 t (2 %)	386 t (1 %)	49%
	総資源化量	11,898 t (31%)	11,857 t (34 %)	6,698 t (20 %)	56%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	7,257 MWh	6,244 MWh	7,349 MWh	118%
減 量 化 量	中間処理による減量化量	24,876 t (70%)	21,509 t (68 %)	24,990 t (76 %)	116 %
最終処分量	埋立最終処分量	1,729 t (5%)	1,508 t (5 %)	3,143 t (10 %)	208 %

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績B /目標A
総人口		94,147	90,963	91,067	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	75,403	74,868	76,659	102.4 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	80.1 %	82.3 %	84.2 %	102.4 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	9,858	7,926	9,368	118.2 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.5 %	8.7 %	10.3 %	118.2 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1,860	1,909	766	40.1 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.0 %	2.1 %	0.8 %	40.1 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	7,026	6,260	4,274	68.3 %

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制 、再使用 の推進に 関するも の	101	ごみの減量化・資源 化教育の推進	射水市	ものを大切にする意識を育む ため、学校教育・社会教育・ 生涯学習等といった場面で、 環境教育、環境学習（例：「 いみず環境チャレンジ10」 ）の推進を図るよう努めてい く。また、ごみ処理施設の見 学会等を通じて、ごみ処理の	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

				現状・課題の周知とごみの減量化や資源化活動に対する啓発を図っている。		
102	出前講座・講習会・講演会・シンポジウム等の開催	射水市		ごみの減量化や資源化に関心を持って貰えるように、自治会等からの要望に応じて職員による出前講座を継続的に実施している。また、定期的に学識経験者や市民団体を招くなどして、講習会や講演会・シンポジウムの開催に努めている。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
103	啓発イベント	射水市		市民参加による「いみず環境フェア」（エコ商品の紹介・展示、資源ごみ及び使用済み廃小型家電の回収、地産地消販売、再生品活用市等）といったイベントを開催している。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
104	普及啓発冊子の充実や効果的な情報媒体の活用	射水市		ごみの減量化や資源化の促進、排出マナー向上を図るため、広報紙やホームページ等を充実し、新聞やインターネ	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

				ット等の各種情報媒体を活用した情報発信に努める。また、市民からの意見等をごみ処理行政に反映させていくため、電子メール等を今後も活用していく。		
105	標語やポスターの募集	射水市		ごみを減らすアイデアやものを大切にする意識を育てる標語やポスター等を募集し、広報やホームページ等で公表している。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
106	表彰制度の推進	射水市		ごみの減量化や資源化を実践した団体や個人、集団回収等を活発に行っている団体、排出マナーが優良な地域や校下等に対して表彰し、広報等でその活動を紹介するためのしくみづくりの推進に努めている。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
107	不用品交換等によるリサイクルの促進	射水市		市民団体や行政が主催する出店料無料のフリーマーケット等の情報を新聞やインターネット等の各種情報媒体を利用	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

				したりして提供する。また、ボランティア団体等による不用になった衣服の寄付活動を支援していく。		
108	ごみの排出ルールの遵守・指導徹底	射水市		ごみステーションの保全を目的として、自治会等と協力しながら、各地域の特性に応じた分別排出指導や不法投棄の防止に努めている。また、分別排出を指導する際には、地域ごとの環境保全に対する意識や行動の違いを考慮して行う。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
109	使用済み廃小型家電の資源化の推進	射水市		使用済み廃小型家電（パソコン含む）を資源ごみとして分別回収し、民間資源化施設を活用した資源化を実施している。今後も、資源化を推進し、ごみの減量化や天然資源の消費の抑制を図っていく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
110	小売店等の店頭回収の促進	射水市		スーパーマーケット等の店頭において、牛乳パックや白色トレイ等の回収を促進し、資	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

				源化を進めてもらっている。		
111	レジ袋等の容器包装の有料化や買い物袋持参(マイバッグ)運動の促進、収集ごみの有料化制度の継続及び適宜見直し	射水市		レジ袋等の有料化や買い物袋(マイバッグ)の持参は、レジ袋を減らす運動であるとともに市民のごみを減らすための意識の啓発にも役立つ。そこで、普及啓発、指導、関係者の連携方策等により、小売店での容器包装の使用の合理化を推進する。また、家庭系燃えるごみの有料化制度を継続することで、分別排出を促進させるとともに、処理経費に見合った処理手数料となるよう適宜見直しを検討していく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
112	資源再利用推進報奨金交付制度の実施	射水市		自治会等の市民団体による有価物の集団回収活動が安定的に行われ、ごみの減量化や資源化が効果的に進められるように、報奨金の交付等による支援制度を継続的に実施していく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

113	ごみ自家処理機材購入費補助金交付制度の継続	射水市	広報やホームページ等で補助金交付制度の周知を図り、普及・拡大に努める。なお、補助金額については情勢に応じて見直しを図る。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
114	生ごみの減量化・資源化の推進	射水市	生ごみは、バイオマスとしての利用価値が高いことから、「射水市バイオマスタウン構想」と連動した資源化事業を引き続き推進していく。また、「G7 富山環境大臣会合」で採択された「富山物質循環フレームワーク」の具体例である食品ロス・食品廃棄物対策として、「3010運動」が全市に広まるよう努める。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
115	生活排水対策に係る啓発活動の強化	射水市	家庭等から排出される水質汚濁負荷量の削減のための啓発活動の強化を図る。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
116	過剰包装の抑制	射水市	流通業者や小売業者との連携により、スーパーマーケット等の小売店での包装の簡素化	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

				を推進する。		
117	市内事業所へのごみ減量・資源化指導	射水市		大規模な事業所については、毎年事業系一般廃棄物減量・資源化計画書を提出させ、ごみの減量・分別による資源化に、より一層努めるよう指導を行う。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
118	「とやまエコ・ストア」協力店登録制度の活用と市民への周知	射水市		富山県では、エコライフの一層の定着・拡大を図るため「とやまエコ・ストア制度」を創設した。今後も、本制度の活用を小売店等に働きかけるとともに、協力店を市民に広く周知していく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
119	ごみの搬入管理の強化	射水市		毎年、許可業者に対して、対象事業所の名前・所在地・契約収集量のリストの提出を求め、その際に必要に応じて、搬入ごみの内容についての検査を行っており、今後も引き続き実施していく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
120	排出事業所や許可業者に対し、資源ごみ	射水市		排出事業所や許可業者に対し、燃えるごみの中に混入し	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

		の分別回収を誘導するための指導・啓発		ている古紙や段ボール、白色トレイ等の資源ごみを分別回収するよう指導・啓発を行っていく。		
121	リターナブル容器、再生資源を原材料として利用した製品の積極的な使用、販売の促進	射水市	小売業者等に対して、購入時に、再利用可能なリターナブル容器等を選択するよう啓発していく。また、市内の商店や量販店に対して、広報やホームページ上で再生品の使用をPRしていき、再生原料を用いた商品や環境にやさしい商品の販売への協力を要請していく。さらに、市として、積極的に再生品利用やグリーン調達の促進に取り組んでいく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施	
122	ごみ自家処理機材購入費補助金交付制度の継続	射水市	事業所等に対して、ごみの減量化や資源化への取組を経済的な側面から支援するため、ごみ自家処理機材の購入経費への補助金を交付しており、今後も継続していく。また、	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施	

				<p>その他事業所が資源化に取り組める環境整備について調査・研究していく。</p>		
	123	<p>事業所ごみ（直接搬入ごみ）の処理手数料の公平で適正な徴収の推進</p>	射水市	<p>現在、事業系ごみについては、搬入量にkg単価を乗じる従量制により処理手数料を徴収し、有料化を行っている。今後もこの制度を継続するとともに、処理経費に見合った処理手数料となるよう適宜見直しを検討していくものとする。</p>	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
処理体制の構築、	21	効率的な収集運搬の実施	射水市	引き続き、効率的な収集運搬の実施を行う。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
変更に関するもの	22	浄化槽設置の推進	射水市	下水道及び集落排水施設等の処理区域以外の人口散在地域等において、合併処理浄化槽の整備を引き続き進める。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施
処理施設の整備に関するもの	1	クリーンピア射水基幹的設備改良事業（※1）	射水市	ごみ焼却施設の延命化を行い、施設運営の効率化（施設整備費、維持管理費の縮減等）を図るために、クリーンピア射水の基幹的設備改良事	H31～R3 (H31～R3)	計画どおり実施

				業を実施する。		
	2	浄化槽設置整備事業 (※2)	射水市	し尿と生活雑排水(台所、洗濯、風呂などの排水)をあわせて処理する合併処理浄化槽(個人設置型)の設置費用に対して補助することで、生活排水改善の促進を図る。	H29~R3 (H29~R3)	計画どおり実施
廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援に関するもの	31	1の計画支援 〔長寿命化総合計画策定支援事業(※1)〕	射水市	環境省の「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き(ごみ焼却施設編)」に基づき、既設(クリーンピア射水)の総合的な長寿命化計画を策定する。	H29 (H29)	計画どおり実施
施設整備に係る計画支援に関するもの	32	1の計画支援 〔生活環境影響調査事業(※1)〕	射水市	廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業に伴う生活環境影響調査を行う。	H29 (H29)	計画どおり実施
	33	1の計画支援 〔事業者選定支援等事業(※1)〕	射水市	廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業に係る工事発注仕様書等作成、事業者選定の支援を行う。	H30 (H30)	計画どおり実施
その他	41	廃家電の資源化に関	射水市	廃家電の資源化については、	H29~R3	計画どおり実施

		する普及啓発		特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収・再商品化が実施されるよう、関連団体や小売店等と協力して、引き続き、回収方法の普及啓発を行っていく。	(H29～R3)	
42	不法投棄防止対策の推進	射水市	河川・海岸・山間地における廃棄物不法投棄合同パトロールや、街灯の設置等を行い、不法投棄の発生防止を図っている。今後も引き続き、適切な対策を推進していくとともに、不法投棄は有料化に付随する問題でもあることから、十分な検討を行っていく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施	
43	廃棄物減量等推進審議会の定期的な開催等	射水市	市民や事業者、行政からの委員で構成された射水市廃棄物減量等推進審議会を定期的に開催し、ごみの減量化や資源化及び適正処理の推進に関し調査及び審議する。また、自治会や射水市環境衛生協議会等の市民団体と連携を図りなが	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施	

				ら、市民参加によるごみの減量化や資源化等の推進に努めていく。		
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	射水市	「射水市災害廃棄物処理計画」を踏まえ、災害時に発生する災害廃棄物の処理を適切かつ迅速に行えるような体制を整備するとともに、平常時から県及び近隣市町村等の関係機関と連携し、被災時における廃棄物処理体制の構築に努めていく。	H29～R3 (H29～R3)	計画どおり実施

3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

(1) 削減量（実績）

基幹改良工事前の令和元年度の運転実績と基幹改良工事後の令和4年度1年間の運転実績を踏まえ、CO2削減率を基幹改良事業における事業報告CO2データ整理シートにより計算した結果、年間二酸化炭素削減量は1,509t-CO2/年と大幅な減量となっている。またCO2削減率は、改良前計画値（交付申請時）の11.9%や、性能試験での20.6%を大きく上回る37.3%となっている。（添付資料 基幹改良事業における事業報告CO2データ整理シートを参照）。

(2) 削減量に達しなかった場合の原因

--

4 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

【排出量】

- ・ 事業系の総排出量は、目標の13,952tに対し実績が13,845tとなり目標を達成することができた。また、1事業所当たりの排出量は、目標の2.10tに対し実績が2.74tとなり目標を達成できなかった。
- ・ 生活系の総排出量は、平成27年度と比べ減少しているものの目標の17,904tに対し実績が19,129tとなり目標を達成できなかった。また1人当たりの排出量も目標を達成できなかった。
- ・ 事業系生活系総排出量の合計は、平成27年度と比べ減少しているものの目標の31,856tに対し実績が32,974tとなり目標を達成できなかった。
- ・ 排出量については、人口減や新型コロナウイルス感染症流行等の外的要因により総排出量では減少しているものの、単位当たりの排出量では増加しており、計画で取り組むとしていた市民や事業所への普及啓発の取り組みが不十分であったと思われる。

【再生利用量】

- ・ 直接資源化量及び総資源化量ともに目標を達成できなかった。

- ・地域計画で見込んでいた焼却灰の溶融処理を休止したことで再生利用量の目標を達成できなかったことから、これに代わる新たな再生利用のスキームを検討する必要がある。

【最終処分量】

- ・目標の1,508tに対し実績が3,143tとなり目標を達成できなかった。
- ・地域計画で見込んでいた焼却灰の溶融処理が休止したことが影響していることから、焼却灰の減量化に向け、焼却灰の新たな再生利用法を検討するほか、廃棄物の排出抑制、再生利用を推進し、総合的に焼却処理自体の削減に努める必要がある。

(生活排水処理)

- ・公共下水道 : 目標値74,868人(普及率82.3%)に対し、実績は76,659人(同84.2%)であり、目標を達成した。
- ・集落排水施設等 : 目標値7,926人(普及率8.7%)に対し、実績は9,368人(同10.3%)であり、目標を達成した。
- ・合併処理浄化槽等 : 目標値1,909人(普及率2.1%)に対し、実績は766人(同0.8%)であり、目標を達成できなかった。
- ・未処理人口 : 目標値6,260人に対し、実績は4,274人であり、目標を達成した。
- ・計画はおおむね順調に進行し、目標を達成した。

(都道府県の所見)

地域計画に基づく施策の効果が一定程度現れているが、ごみの排出量(事業系ごみの1事業所当たりの排出量、生活系ごみの総排出量及び1人当たりの排出量)、再生利用量、最終処分量は、目標を達成できなかったことから、ごみの発生抑制、再使用、再資源化をより一層推進する必要がある。

(技管協の所見)

施策種別：処理施設の整備に関するもの

事業番号：1

施策の名称等：クリーンピア射水基幹的設備改良事業

射水市は環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業として、廃棄物処理施設技術管理協会からの補助金を受けた改良事業が令和3年度（令和4年3月末）に終了し、令和4年度の1年間の運転結果に対する二酸化炭素削減効果について報告を受けた。

二酸化炭素排出量について、改良事業前は1,360トンのCO₂/年、改良事業後は-149トンのCO₂/年で年間削減量は1,509トンのCO₂/年である。削減率は37.3%となっており、交付申請時の目標削減率11.9%および改良事業の要件とされている二酸化炭素削減率5%をともに満足しており良好な結果である。

今後も善良な管理者の注意のもと、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図られることを期待したい。

基幹改良事業における事業報告CO2データ整理シート

【自治体名：射水市】

令和5年5月8日

基幹改良工事後の運転実績【令和4年度】

事項	1 炉 運 転								2 炉 運 転								3 炉 運 転							
	1炉運転の日数 日	1炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量	2炉運転の日数 日	2炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量	3炉運転の日数 日	3炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量						
			a	b	c	d			a'	b'	c'	d'			a''	b''	c''	d''						
4月	3	133	47,240	33,760	0.00	0	25	2,131	506,790	643,590	0.99	0	0	0	0	0	0	0						
5月	8	358	130,040	93,910	2.07	0	21	1,859	435,490	549,200	0.45	0	0	0	0	0	0	0						
6月	8	421	150,960	112,220	1.45	0	21	1,840	436,240	550,700	1.13	0	0	0	0	0	0	0						
7月	7	315	123,280	67,430	1.95	0	22	1,945	489,960	599,250	1.03	0	0	0	0	0	0	0						
8月	0	0	0	0	0.00	0	30	2,624	666,490	606,220	0.73	0	0	0	0	0	0	0						
9月	0	0	0	0	0.00	0	14	1,606	548,830	372,410	4.31	0	0	0	0	0	0	0						
10月	12	526	199,670	129,980	0.05	0	18	1,556	388,530	471,340	0.15	0	0	0	0	0	0	0						
11月	2	88	35,480	21,350	2.06	0	25	2,191	526,200	646,230	1.02	0	0	0	0	0	0	0						
12月	8	349	133,920	76,080	0.96	0	17	1,436	342,930	416,550	0.48	0	0	0	0	0	0	0						
1月	4	172	66,630	38,520	0.98	0	25	2,148	504,850	624,880	0.02	0	0	0	0	0	0	0						
2月	13	550	204,850	129,450	1.22	0	3	238	57,410	66,380	0.09	0	0	0	0	0	0	0						
3月	4	171	64,940	47,280	1.08	0	26	2,223	530,760	665,320	0.65	0	0	0	0	0	0	0						
計	69	3,084	1,157,010	749,980	11.82	0	247	21,796	5,434,480	6,212,070	11.04	0	0	0	0	0	0	0						

※「運転日数」とは、立ち上げ下げを含まない定常運転の日数を指す

CO2排出係数	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ								
CO2排出量	642 ↳CO2	-416 ↳CO2	29 ↳CO2	0 ↳CO2	3016 ↳CO2	-3448 ↳CO2	27 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2								
A(1炉運転)	基幹改良工事後の1炉運転時 年間CO2排出総量 a+b+c+d				255↳CO2/年				A(2炉運転)				基幹改良工事後の2炉運転時 年間CO2排出総量 a'+b'+c'+d'				-404↳CO2/年			
A 計												基幹改良工事後の 年間CO2排出総量 A				-149↳CO2/年				

基幹改良工事前の運転実績【令和元年度】

年間運転実績から1炉運転時、2炉運転時、3炉運転時の平均的な量を求める

事項	1 炉 運 転								2 炉 運 転								3 炉 運 転							
	1炉運転の日数 日	1炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量	2炉運転の日数 日	2炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量	3炉運転の日数 日	3炉運転中の ごみ処理量 トン	受電電力量	売電電力量	燃料使用量	熱利用量						
			a	b	c	d			a'	b'	c'	d'			a''	b''	c''	d''						
4月	6	252	112,040	41,000	0.36	0	18	1,487	401,150	295,630	1.28	0	0	0	0	0	0	0						
5月	6	260	119,050	52,210	0.08	0	15	1,284	342,830	254,430	2.51	0	2	250	54,240	42,510	0.61	0						
6月	6	254	112,000	47,330	2.61	0	22	1,896	502,090	372,550	4.09	0	0	0	0	0	0	0						
7月	0	0	0	0	0.00	0	28	2,400	649,820	486,370	4.33	0	0	0	0	0	0	0						
8月	2	82	38,010	13,400	0.01	0	28	2,445	678,580	515,110	1.33	0	0	0	0	0	0	0						
9月	1	42	19,250	2,340	0.24	0	19	1,630	436,790	320,900	2.10	0	0	0	0	0	0	0						
10月	6	306	118,730	72,700	1.69	0	24	2,079	545,410	403,480	0.77	0	0	0	0	0	0	0						
11月	5	222	94,840	44,890	1.10	0	22	1,936	499,680	370,470	1.97	0	0	0	0	0	0	0						
12月	8	335	149,220	63,080	1.05	0	10	856	228,450	171,310	1.72	0	6	786	164,140	130,440	0.67	0						
1月	5	200	93,240	38,550	1.00	0	20	1,716	463,110	349,670	2.19	0	2	248	54,190	42,810	0.00	0						
2月	0	0	0	0	0.00	0	16	1,376	368,740	277,600	21.32	0	0	0	0	0	0	0						
3月	5	217	99,070	49,380	2.97	0	23	1,942	533,520	398,070	1.18	0	0	0	0	0	0	0						
計	50	2,171	955,450	424,880	11.11	0	245	21,046	5,650,170	4,215,590	44.79	0	10	1,284	272,570	215,760	1.28	0						
日平均値			19,109	8,498	0.22	0			23,062	17,206	0.18	0			27,257	21,576	0.13	0						

※「運転日数」とは、立ち上げ下げを含まない定常運転の日数を指す

CO2排出係数	基幹改良工事後の運転 状況に沿って求めた改 良工事前の1炉運転時 年間CO2排出総量	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ	基幹改良工事後の運転 状況に沿って求めた改 良工事前の2炉運転時 年間CO2排出総量	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ	基幹改良工事後の運転 状況に沿って求めた改 良工事前の3炉運転時 年間CO2排出総量	0.000555 ↳CO2/kWh	-0.000555 ↳CO2/kWh	2.49 ↳CO2/kℓ	-0.057 ↳CO2/GJ					
CO2排出量	732 ↳CO2	-325 ↳CO2	38 ↳CO2	0 ↳CO2	3161 ↳CO2	-2359 ↳CO2	112 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2	0 ↳CO2						
B(1炉運転)	基幹改良工事後の1炉運転時 年間CO2排出総量 a+b+c+d				445↳CO2/年				B(2炉運転)				基幹改良工事後の2炉運転時 年間CO2排出総量 a'+b'+c'+d'				915↳CO2/年			
C(1炉運転)	基幹改良工事後の1炉運転時 年間CO2排出総量 a+c				770↳CO2/年				C(2炉運転)				基幹改良工事後の2炉運転時 年間CO2排出総量 a'+c'				3,274↳CO2/年			
B 計												基幹改良工事前の 想定年間CO2排出総量 B				1,360↳CO2/年				
C 計												基幹改良工事前の 想定年間CO2排出総量 C				4,044↳CO2/年				

基幹改良事業実施後【令和4年度】におけるCO2削減率

$$CO2削減率(\%) = (B - A) / C \times 100 = 37.3\%$$

CO2排出係数

燃料	排出係数
電力	0.00056 ↳CO2/kWh
コークス	3.24 ↳CO2/ℓ
灯油	2.49 ↳CO2/kℓ
軽油	2.58 ↳CO2/kℓ
A重油	2.71 ↳CO2/kℓ
都市ガス	2.23 ↳CO2/kmN
熱供給	0.057 ↳CO2/GJ

CO2削減整理シート要約

1. 炉型式	流動床方式
2. 炉の定格	138t/日 (46t/24h×3炉)
3. 排ガス冷却方式	ボイラ方式
4. 発電設備の有無	有り

5. 改良前後の運転状況		改 良 前				改 良 後			
		1 炉	2 炉	3 炉	計	1 炉	2 炉	3 炉	計
運転日数	日/年	50	245	10	305	69	247	0	316
年間ごみ処理量	t/年	2,171	21,046	1,284	24501	3,084	21,796	0.00	24,880
1日あたりごみ処理量	t/日				0				0
受電電力量	kwh/年	955,450	5,650,170	272,570	6,878,190	1,157,010	5,434,480	0	6,591,490
売電電力量	kwh/年	424,880	4,215,590	215,760	4,856,230	749,980	6,212,070	0	6,962,050
燃料使用量	kL/年	11.11	44.79	1.28	57.18	11.82	11.04	0.00	22.9
熱利用量	GJ/年	0	0	0	0	0	0	0	

※立上げ下げ日は、運転日数に含まない。

6. 基幹改良工事前後のCO2排出状況		改 良 前				改 良 後				削減量
		1 炉	2 炉	3 炉	計	1 炉	2 炉	3 炉	計	
受電電力による排出量	t-CO2/年	732	3,161	0.00	3,893.22	642	3,016	0.00	3,658	
売電電力による排出量	t-CO2/年	-325	-2,359	0	-2,684	-416	-3,448	0.00	-3,864	
燃料使用による排出量	t-CO2/年	38	112	0.00	150.61	29	27	0.00	57	
熱利用による排出量	t-CO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
年間排出量 B,A	t-CO2/年	445	915	0.00	B 1,360	255	-404	0.00	A -149	1,509
年間排出量C(発電および熱利用を控除)	t-CO2/年	770	3,274	0.00	C 4,044					

基幹改良工事によるCO2削減率
 $(B-A) / C \times 100 = 37.3\%$